情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 4 月 24 日作成 第 1.0 版

研究課題名	尿意切迫感の“質”がもたらす Quality of Life への影響
研究の対象	2023 年に実施された日本排尿機能学会の全国調査（JaCS 2023）に参加された当時 20 歳から 99 歳までの成人男女。
研究の目的	この研究では、「尿をしたい」と感じる気持ち（尿意切迫感）があるかどうかだけでなく、その強さやがまんのしやすさにも注目します。そして、「どのくらいがまんできるか」で分けた尿意切迫感の強さが、ほかのトイレの困りごと（下部尿路症状）や生活のしやすさ（生活の質）に、どのような影響をあたえるかを調べるのが目的です。
研究の方法	日本排尿機能学会の 50 周年記念事業の一環として行われた「日本排尿機能学会 23 下部尿路アンケート研究（JaCS 2023）」は、日本の人口構成に基づいて無作為抽出された方から 2023 年 5 月 31 日から 2023 年 6 月 5 日までの間にインターネットを通じておよそ 6,000 人の 20 歳から 99 歳まで男女の方々に参加していただきました。 調査内容は、下部尿路症状（LUTS）や日常生活への影響など、48 項目の質問で構成されています。本研究では、このアンケート研究で収集された情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 8 月 1 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2025 年 8 月 1 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の 項目	【情報】 日本排尿機能学会から提供されるアンケート結果のデータベースから以下の情報を収集します。 「日本排尿機能学会 23 下部尿路アンケート研究（JaCS 2023）」 1) 尿意切迫感（Q25）の回答（時間で分類：20 分以上/10 分程度/5 分程度/ほとんど我慢できない） 2) 参加者情報：年齢、性別、BMI、喫煙歴、飲酒歴、既往歴 3) ほかのトイレの困りごと（たとえば、何回もトイレに行く、夜中にトイレに起きる、おもらしする など） 4) トイレの困りごとが生活にどれくらい影響しているか（QoL スコア）
試料・情報の 授受	本研究では、日本排尿機能学会設定のサイトからデータをダウンロードして行います。ダウンロードの際は研究者ごとにパスワードが設定され、またダウンロードができる期間も設定されています。また、日本排尿機能学会から提供される情報は個人を特定できる情報を含まないデータセットになります。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で情報は復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	既存試料・情報の提供のみを行う機関の担当より、適格基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない特定の個人を識別できないように加工されたデータセットの提供を受けるため、登録業務は行いません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 泌尿器科 伊藤悠城
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は研究費を要しませんが、必要になった際は研究責任者が負担して実施します。また、本研究に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 泌尿器科 （研究責任者）伊藤悠城 【既存試料・情報の提供のみを行う機関と責任者】 一般社団法人 日本排尿機能学会 （責任者）舩森 直哉
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。	
問合せ先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 泌尿器科 （研究責任者・問い合わせ担当者）伊藤悠城 電話番号：045-787-2800（代表）	